

UN Women は、少女と女性の権利と平等を擁護するという使命を放棄しました。私たちの United Women for Women キャンペーンに参加してください。私たちの公開書簡に署名し、男性が女性ではないことを知っている女性を中傷することは、少女と女性の権利の保護と相容れないことを UN Women に知らせてください。

私たち下記署名者は、年齢、階級、人種、教育水準、性的指向、宗教宗派、政治的立場を問わず、独立した女性と男性で構成される、さまざまな国の協会、グループ、集団、運動に組織された女性たちであり、ここに、UN Womenが発表した声明を否認します。同声明では、同機関が「ジェンダー・アイデンティティ」の思想的概念に批判的なグループや組織を「反権利」グループと呼び、すべての反対意見を危険で「極右」と分類し、「LGBTQI+コミュニティ」に対する「ヘイトスピーチ」を広めているとしています。

国連女性機関が最近発表した声明「LGBTIQ+コミュニティと反権利抵抗」は、典型的なDARVO（「被害者と加害者の区別を否定し、攻撃し、逆転させる」）の手法で、ジェンダーアイデンティティのイデオロギーを信じない人々をヘイトスピーチだと非難している。しかし、国連女性機関が文面を通じて行っている非難は虚偽であり、女性の権利を転覆させる新しいイデオロギーに対する健全で完全に合理的な疑問を憎悪と決めつけることで、子供や十代の若者、女性、レズビアン、ゲイに有害である。男女間の真の平等を求める女性の権利団体に積極的に反対しているのは国連女性機関である。

「性自認」というイデオロギー的概念は、多様性に反する。それは、女性と男性、少女と少年に対する有害で女性蔑視的な固定観念を固定化するものであり、女性の権利団体は何十年もこの固定観念と戦ってきた。性自認のイデオロギーは、男性が女性らしさを「演じる」ことを称賛するが、これは世界中の女性に対する侮辱である。性自認のイデオロギーは、レズビアンやゲイの十代の若者に、彼らの性的指向を称賛するのではなく、「性転換」手術を試みるよう促す。これは人権の立場とは正反対である。

LGBTQI は、レズビアンやゲイをゲイではないグループと強制的に一緒にします。ジェンダー アイデンティティのイデオロギーは、レズビアンに男性を性的パートナーとして受け入れるよう強制することで、レズビアンを抹殺します。自分ではない誰かのふりをしたい異性愛者を受け入れるよう人々に強制することには「コミュニティ」はありません。

女性や性的発達に違いのある人々（「インターセックス」）の生殖に関する健康に言及した医療への虚偽の訴えは、実際には、医療倫理の違反、自分の体に対する憎悪の助長、利益を追求する製薬業界や医療業界によって実行される身体的変更への服従、そして幸福と自己受容への取り組みの欠如を隠蔽している。

UN Womenが「反LGBTQIA+運動」と呼ぶものは、実際には「LGBTQIA+」権利運動の名の下に行われた深刻な人権侵害を認識している女性運動です。女性には、自分たちの権利、レズビアンや子どもたちの権利を主張する権利があります。私たちがそうすることで「憎しみに満ちている」と非難するのは、新しい装いをした家父長制の抑圧にすぎません。

国連女性機関が「LGBTQIA+の権利」と呼ぶものは、LGBTの人々の権利を代表するものではなく、本質的には男性グループによる他のグループの権利の破壊と侵害の要求である。

女性専用の空間を侵略することを要求します。

彼らは女子スポーツで女性と競争することを要求する。

女性刑務所への収容を要求し、女性を暴力の危険に直接さらし、行き場をなくしている。

彼らは、人々が誰であるかについて嘘をつく証明書や文書を要求します。
彼らは、性に基づく暴力の告発から逃れるために、ジェンダー・アイデンティティのイデオロギーによって認められた偽のアイデンティティを利用している。
男性に合わせるために、母親、女性、レズビアンの意味を消去することを要求している。
彼らは、子どもや青少年に対する有害で非倫理的かつ実験的な介入を要求している。
彼らは性的搾取と女性の生殖能力の合法化を要求している。
UN Women がこのテキストで使用した主な戦略は、トランス活動家が長年使用してきた戦略1に従っているため、広く知られています。つまり、新たに宣言されたグループを、疎外された被害者の最高の地位に押し上げることです。これにより、女性、レズビアン、子供など、長い間疎外されてきたグループの権利と直接衝突します。トランス活動家は、偽りの新しい優位性を生み出し、自分たちをトップに置きました。

国連女性機関は、偽りのチーム化という戦術を展開し、子ども、青少年、女性、レズビアン、ゲイの人権のために活動する人々に、LGBTQIを人権階層の最上位に置くよう強制している。「LGBTIQ+の人々の人権のために活動することは、女性の権利と男女平等のために活動することと切り離せない」

我々は同意しません。国連女性機関は女性の権利を求める女性たちの活動を支援すべきであり、男性のために女性の権利を主張することを主な目的とする新しく宣言されたグループのために女性たちの懸念を二の次にする必要があると女性たちに告げるべきではありません。

UNウィメンの主張とは反対に、子ども、若者、女性、レズビアンは男性優位のグループに従う必要はなく、権利を保障されるために男性の要求のために働く必要もなく、完全な自律性を持つ必要がある。UNウィメンがその文書で利用しようとしているフェミニスト組織を含む子ども、若者、女性、レズビアン女性は、トランス活動家グループと同じ目標を共有していない。トランス活動を経験したことがある私たちは、これが「家父長制、白人至上主義、人種差別、植民地主義、障害者差別、階級差別、その他の抑圧システム」の新しいバージョンであることを証明できません。最も凶悪な侮辱は、UNウィメンが女性の権利のために活動するフェミニスト組織に対してこれらの中傷を使用していることです。

国連女性機関の執拗なプロパガンダは、女性の権利団体に対し、男性による「女性らしさ」の承認要求に従うよう要求しており、国連女性機関がもはや女性の権利の保護と推進に関心のある団体ではないことをさらに証明している。国連女性機関は今や家父長制の道具となり、積極的に女性を抑圧している。

だからこそ、子どもや若者、女性、レズビアン、ゲイの権利を求める真の運動は、常に必然的に「ジェンダー批判的」であり、子どもや若者、女性、レズビアン、ゲイの生活と明らかに矛盾する「トランスジェンダーの権利」を装った男性優位の要求に反対するものとなるのです。

UNウィメンが使うもう一つの戦略は、これらすべてのグループの苦情を「道徳的パニック」を引き起こすものとして分類することである。これは私たち全員がよく知っている戦略である。なぜなら、女性がわずかな生存権を失わないように闘ったり、子供のために闘ったりするときにはいつでも、彼女たちは気が狂っている、ヒステリックである、要求が多すぎると蔑まれるからである。

国連女性機関は、子どもの健康と幸福に関する親たちの切実な懸念を否定するのを直ちにやめるべきである。子どもの健康な体の一部を切除し、不妊手術を施し、異性ホルモンを体内に注入することは「医療」ではない。それは危害であり、主要な世界機関が危害を押し進めるなら、親たちはそれに疑問を呈する権利がある。

同様に、「トランス女性」は定義上男性であるため、既存のデータが「トランス女性」が男性と同様に女性に脅威を与えることを示していることを指摘しても「道徳的パニック」は生じません。2

「資金打ち切り」や「公的な場からの排除」に関しては、西側諸国では女性やLGBTの運動の自治に干渉する財団からの多額の投資があり、その額は増加している中で、UNウィメンが資金不足を訴えるのは滑稽なことだ3。司法、立法、州政府などの政府権力も、教育、健康、公共安全などにおいて、もっぱらトランスジェンダーの思想の押し付けに基づいた公共政策をますます支持するようになっている。最も最近の例は、フランスでのオリンピックの開会式で、「トランスジェンダー」という概念の称賛に満ちていたが、これは、この運動が資金打ち切りどころか、逆に多額の資金提供を受け、覇権を握っていることを示している。

UNウィメンによる重大な非難は、下記に署名したすべての組織、そしてジェンダーイデオロギーを批判し、特に女性と女兒は性別に基づく特定の権利を有すると主張するすべての男性と女性に影響を及ぼします。

トランスアクティビスト運動は抽象的な考えや信念に基づいているため、その根底にはイデオロギー的な側面があることは否定できないが、UNウィメンが「ジェンダーイデオロギー」という表現を引用符で囲み、それを偏見のあるもののように特徴づけようとしていることは注目に値する4。この運動は、人は性別を変えることができると信じ、性差別的な固定観念が人間を定義すると信じ、主観的に認識され、物質的な根拠はないが、社会全体に具体的な真実として押し付けられるべき「ジェンダーアイデンティティ」と呼ばれる実体を信じている。

国連システムは、クィアプロジェクトに重点を置いた全体的な議題を受け入れ、その取り組みを再確認することに専心する一方で、科学と現実から距離を置くようになり、今日ではさまざまな場面で、人権を欠く世界人口の最大部分である女性、女兒、同性愛者の権利を擁護する代わりに、これらのグループを保護するために必要な概念を積極的かつ徹底的に消去するイデオロギーを支持するようになっている。

国連は、現在、女性、レズビアン、子供、ティーンエイジャーの利益に反する議題に取り組んでおり、反多様性、反人権、反民主主義である。国連女性機関によるこの論文は、中傷、侮辱的な言葉、蔑称など、女性に対する歴史的な家父長制的抑圧の手段を使って女性の権利を侵害する運動に対する正当な批判を黙らせようとしている。

以上のことを踏まえ、私たちはこの公開書簡で、国連女性機関が、女性の権利を求める新たに作られた男性グループの懸念を、実際の女性の懸念よりも優先させることで、世界中の女性の大義を裏切ったことを非難します。国連女性機関は、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントのための国連機関として、2010年に設立されました。国連女性機関は、女性の大義を擁護する機関であり、女性のふりをする男性のために私たちの力を奪い、平等を消し去る機関ではありませんでした。率直に言って、あなた方は道を見失っています。

我々はまた、対話に応じようとしないう国連女性機関の反民主的な性質も強調する。

私たちは、女性は成人した人間の女性であり、レズビアンは女性に惹かれる女性であり、子供や青少年は妄想的で自らの発達に有害な介入に同意することはできないという理解を放棄しません。

これらは、このマニフェストに代表されるすべての組織にとって交渉の余地のない側面であり、人権擁護を主張するあらゆる組織にとってそうあるべきです。

これを踏まえて、私たちは次のことを断言します。

ジェンダーイデオロギーを拒否する女性を犯罪者として扱う試みは、国連女性機関が最も基本的な形で女性蔑視を広め、促進していることを明らかにしている。

「極右」という中傷や非難は、まったく証明されていない「ジェンダー・アイデンティティ」という概念を批判する人々を黙らせることを意図している。国連機関は、特に女性の権利、子どもの権利、レズビアンやゲイの権利を主張する女性に対して、この戦術を決して使用すべきではない。

ジェンダーイデオロギーを批判する女性は「反権利」グループの一員であるという非難は、国連女性機関によるヘイトスピーチにあたり、女性の沈黙と迫害を助長し、私たちの権利を否定するものである。

国連女性機関は女性を代表していません。

私たちは、UN Women が本来の使命を回復し、UN Women のウェブサイトで謳われているような女性の権利擁護団体となることを要求します。

「UNウィメンは、女性の人権を擁護し、すべての女性と女兒が自分の可能性を最大限に発揮できるようにするためのプログラム、政策、基準を提供する国連機関です。」

男性は女性ではないし、これからも女性にはならないことを知っている女性を悪者扱いしたり中傷したりするのはやめましょう。

1

<https://www.spectator.co.uk/article/the-document-that-reveals-the-remarkable-tactics-of-trans-lobbyists/>

2スウェーデン<https://journals.plos.org/plosone/article?id=10.1371/journal.pone.0016885>

英国<https://fairplayforwomen.com/prison-data-confirmed/>

米国

<https://bpb-us-e2.wpmucdn.com/sites.uci.edu/dist/0/1149/files/2013/06/A-Demographic-Assessment-of-Transgender-Inmates-in-Mens-Prisons.pdf>

3 <https://globalresourcesreport.org/>

4

<https://www.oxfordreference.com/display/10.1093/oi/authority.20110803095956722#:~:text=Any%20wide%2Dranging%20system%20of,scheme%20with%20a%20practical%20application>

イニシアチブを形成する組織

この手紙を支持する団体

オーストラリア女性行動同盟の加盟

女性の抹殺に反対する同盟
スペイン

進歩的女性退職者協会
スペイン

ワーキンググループ「ジェンダーに基づく女性の権利」
ドイツ

アルシレズビカ
イタリア

ラディカル・フェミニスト女性協会 (AFRE)
スペイン

オーストラリア女性の権利のためのフェミニスト

女性権利同盟 バイエルン州
ドイツ

チャンピオン・ウィメンズ
・アメリカ

オーストラリアレスビアン活動家連合

Confluence フェミニスト運動
スペイン

フェミニストの現在
ブラジル

子供はトランス
ブラジル人ではありません

ドイツレスビアン生活協会 (DGLL)
ドイツ

EGGö - 欧州男女平等協会 オーストリア
オーストリア

ヨーロッパ移民女性ネットワーク

FEMES、スペイン社会主義フェミニスト協会
スペイン

女性のアクション ミュンヘン
ドイツ

フラウエンヘルディネン eV
ドイツ

ドイツにおけるジェンダーカウント

女性スポーツに関する独立評議会
米国

独立女性フォーラム (IWF)
米国

独立女性ネットワーク
米国

独立女性の声
米国

IWD ブリスベン ミーンジン
オーストラリア

ジャストゲイ
ドイツ

女性に語らせましょう！
ドイツ

LAZ reloadedxx
ドイツ

オーストラリアレズビアンアクショングループ

レズビアン権利章典
国際

レズビアンレジスタンスニュージーランド
ニュージーランド

レズビアン権利同盟
英国

イギリスのLGB キリスト教徒

LetWomenSpeakNL
オランダ

女性の権利と尊厳を取り戻す会
Japan

性差別に挑む男性の
同盟 イギリス

メモマ
オランダ

ブラジル完全児童運動

スペイン・リバスの奴隷制度廃止運動家の女性たち

女性博物館 - CABA
アルゼンチン

ノバスコシア州平和のための女性の声
カナダ

ラドフェム イタリア
イタリア

フェミニストのルーツ
ブラジル

レッドテント・コレクティブ
・カナダ

ケベック・フェミニスト・ネットワーク

・カナダ

ジェンダー教育に抵抗する
ニュージーランド

SISTERS - 売春から抜け出すために！ eV
ドイツ

ニュージーランドの女性のために声を上げる

スペインのフェミニスト集会レ・コマドレス

エコフェミニスト連合
ブラジル

女性は本物だ
アメリカ

女性宣言国際
グローバル

女性宣言インターナショナル
アルバータ(カナダ)

女性宣言 国際
フランス

女性宣言国際
インド

国際女性宣言
メキシコ

女性宣言国際
ノルウェー

女性宣言国際
スロベニア

女性宣言国際
スペイン

女性宣言国際
米国

女性 II 女性
米国

女性の権利ネットワーク
英国

女性はイギリスでウィーシュしない
行動を起こす
手紙に署名する
材料

共有
行動を起こす
手紙に署名する
材料

共有
連絡を取り合う

キャンペーンの進捗状況、ニュース、イベントに関する情報をメールで受け取る
メール

contact@womenforwomensrights.org

インスタグラム Xツイッター

著作権 © United Women for Women's Rights. 無断転載禁止

法的条件、契約およびポリシー

エマ